

## (1) 南海トラフ地震の被害想定

南海トラフ地震が発生した場合、マグニチュードは8~9、震度は伊勢志摩地域、東紀州地域を中心に、6強以上の揺れが想定されています。

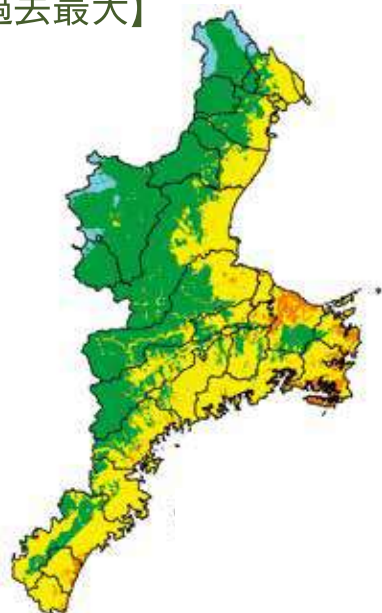
また、場所によっては、約11mを超える大津波が到達することも想定されています。

【過去最大クラスの南海トラフ地震】 過去概ね100年から150年間隔でこの地域を襲い、揺れと津波により本県に甚大な被害をもたらしてきた、歴史的にこの地域で起こり得ることが実証されている南海トラフ地震。

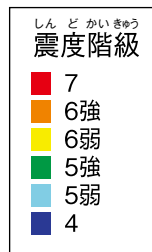
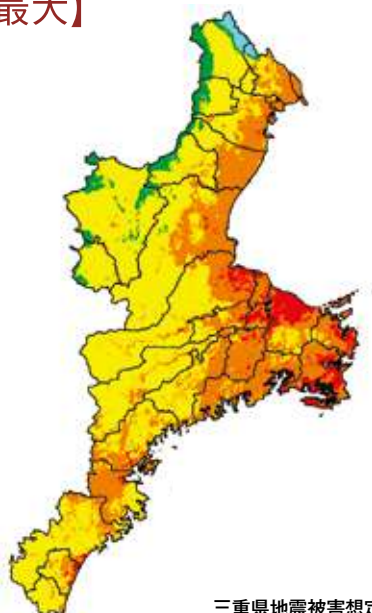
【理論上最大クラスの南海トラフ地震】 あらゆる可能性を科学的見地から考慮し、発生する確率は極めて低いものの理論上は起こり得る最大クラスの南海トラフ地震。

### ◆南海トラフ地震発生時の強震動予測

【過去最大】



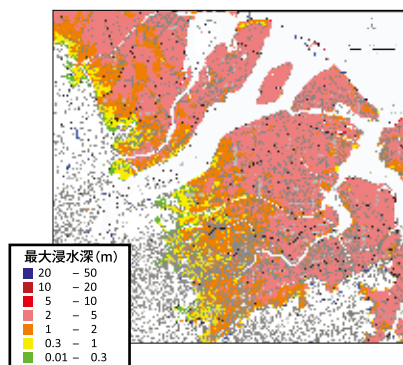
【理論上最大】



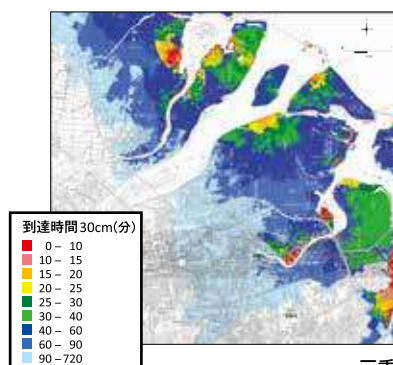
三重県地震被害想定調査結果(平成26年3月)

### ◆南海トラフ地震(理論上最大クラス)発生時の浸水予測と津波浸水深30cm到達予測

津波浸水予測図



津波浸水深30cm到達予測時間分布図



三重県地震被害想定調査結果(平成26年3月)

津波浸水予測は「どこまで逃げなければいけないか」、津波浸水深30cm到達予測時間分布図は「いつまでに、どの方向に避難しなければいけないか」を示しています。

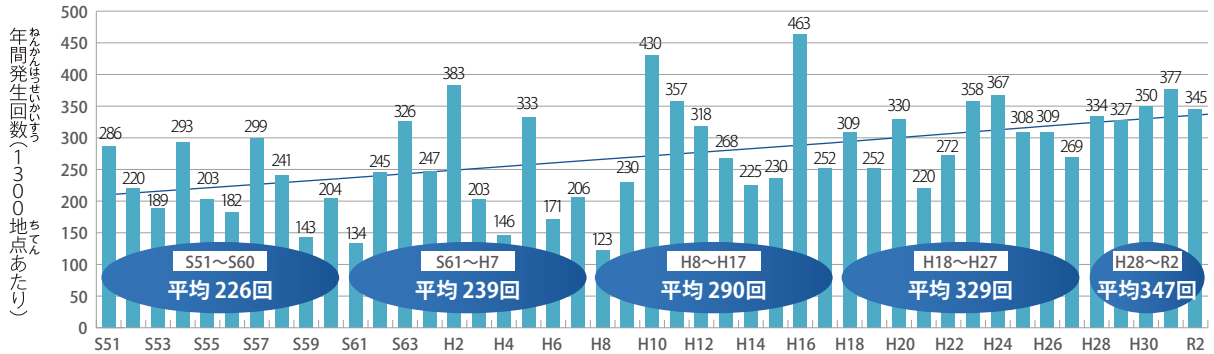
あなたの地域の震度、津波浸水などの予測は三重県のホームページで見ることができます!

## (2) 増加傾向にある集中豪雨

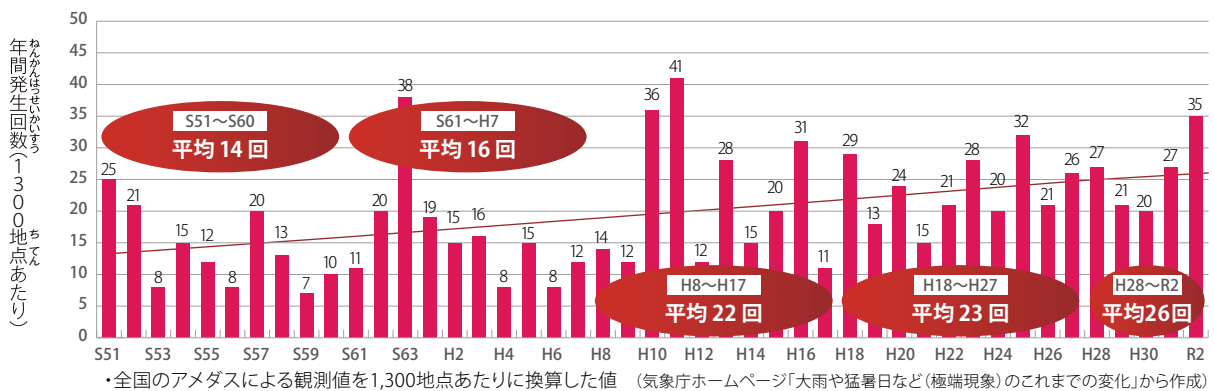
集中豪雨とは、狭い範囲に比較的短時間に大雨が降る現象です。近年の発生回数は全国的に増加しており、河川の氾濫やがけ崩れなど大きな被害をもたらすので十分注意してください。

アメダス地点で1時間降水量が50mm、80mm以上の年間発生回数

1時間降水量 50mm 以上の年間発生回数 (1300 地点あたり)



1時間降水量 80mm 以上の年間発生回数 (1300 地点あたり)



・全国のアメダスによる観測値を1,300地点あたりに換算した値 (気象庁ホームページ「大雨や猛暑日など(極端現象)のこれまでの変化」から作成)

※非常に激しい雨(50~80mm)：滝のように雨が降り、マンホールから水が噴出し、地下街等に雨水が浸入し、洪水や土砂災害が発生しやすくなる。  
 猛烈な雨(80mm以上)：息苦しくなるような圧迫感があり、大規模な災害が発生するおそれがあり、強く嚴重な警戒が必要となる。

## (3) 防災気象情報

気象庁は、低気圧や台風の接近によって、大雨により災害が発生するおそれがある場合、注意報や警報等の防災気象情報を発表します。



防災みえ.jp

<p>おお あめ ちゅう い ほう</p> <h3>大雨注意報</h3>	<p>「注意してね! 災害が起こるかもしれないよ!」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・気象情報や外の様子に注意しよう</li> <li>・避難場所への行き方を確認しよう</li> </ul>	
<p>おお あめ 大雨になりそう・・・</p> <h3>大雨警報</h3>	<p>「危ないよ! このままだと大きな災害が起こりそうだよ!」</p> <p><b>大切なこと</b> おうちの人と相談して避難するなど、                  早め早めに行動しよう!</p>	
<p>さらに激しい雨になりそう・・・</p> <h3>大雨特別警報</h3>	<p>「これまでにない危険が迫っているよ!!」</p> <p><b>大切なこと</b> おうちの人と一緒に避難の情報を確認、                  外の様子に注意してできることをしよう!</p>	